

# 美樂舎

B i G a K u S Y a  
News letter

No. 326

会報 第 326 号 (平成 30 年 12 月発行)

東京都中央区銀座 1-13-4 大和銀座一ビル6F  
K's Gallery 内

Tel:03-5159-0809 Fax:03-5579-9004

Mail:kgallery@eagle.ocn.ne.jp HP:http://bigakusya.com

第 350 回 (11 月) 例会

## 第 5 回改組日展鑑賞および 工芸部門シンポジウム

2018 年 11 月 23 日 (金)

会場：国立新美術館

参加者：会員 3 名



### 【幹事報告 片岡靖雄】

恒例の第 5 回日展で、林香君先生の招待券で入場し、待ち合わせの正午工芸部門入口でいつものシニア 3 人が集合した。今日の予定は午後 1 時半からの工芸美術部門のシンポジウムが目玉でした。日展については数年前情実審査などで新聞をにぎわした後、「改組日展」と出直しを宣言し、年毎に開かれた日展を目指しているのが判ります。

今年から土、日曜日の写真撮影も OK になりました。日展の工芸美術部門はその範囲は広く、陶芸、染色、漆工芸、人形、皮工芸、金属工芸、ガラスなど多岐にわたる。尚且つそれらは一同に展示されており、工芸の伝統工芸展の部門別展示と

は明らかに相違があります。

美樂舎メンバーの 3 人は工芸美術部門をいつもの通り鑑賞してましたら林先生が来られ先生の作品の前で記念写真を撮りました。先生はこの後の工芸部門シンポジウムの司会を務める予定で多忙な予定でした。

目玉のシンポジウム「日展の工芸美術」の開始です。まず春山文典理事より 40 分にわたり、主な特選作について画像入りで解説されました。審査のポイントは表現技術の確かさと若々しい意欲作を選んだとの報告でした。

次は討論会形式で「工芸美術シンポジウム——素材・技法・